
GNN-051 NIM 200MHz CLOCK GENERATOR

ニム 200MHz クロック ジェネレーター

概説

このNIMモジュールは、物理学実験、素粒子実験用に開発されたシンセサイザー方式基準信号発生モジュールです。

実験室等でセットアップ作業に、テストベンチで機能確認作業にとNIMモジュールならではの便利さがあります。

周波数は任意にパネル面のスイッチにてセットすることができ出力はNIM波形、TTL波形の2種類がパネル面より出力します。



特徴

NIM 1 幅モジュール

出力波形 矩形波、Duty 50%

周波数 780 KHz ~ 200 MHz (NIM信号、分周器未使用時)

TTL出力 正負両極出力 各1回路

NIM出力 正負両極出力 各2回路

BNCコネクタ使用

出力信号

波形出力信号	: TTL 矩形波		
	負荷インピーダンス	50	
	矩形波の立ち上り/立ち下り	2.5nsec 以下	
波形出力信号	: NIM 矩形波		
	負荷インピーダンス	50	
	矩形波の立ち上り / 立ち下り	0.8nsec 以下 / 1.6nsec 以下	
出力信号振幅	: TTL 出力 (最大信号高さ 4V 以上 50 負荷時)		2 系統
	NIM 出力 (-16mA 50 負荷時)		4 系統
出力コネクタ	: BNC	6 個	

仕様

チャンネル数	: 1チャンネル		
周波数	: NIM 信号 周波数可変範囲	780kHz ~ 200MHz	
(分周器未使用時)	: TTL 信号 周波数可変範囲	780kHz ~ 109.99MHz	
スイッチ	: SET スイッチ	1 個	
	: 周波数設定用スイッチ	2 セット	
	メインスイッチ	5 桁	
	乗数スイッチ	1 桁	
使用電源、電流	: +6V	500mA	
	: +24V	40mA	
	: -6V	1.9A	
	: 計	15.36W	
形状	: NIM	1 幅モジュール	

周波数設定の方法

希望の周波数に最上部のメイン周波数スイッチを設定します。次に2段目の乗数スイッチを設定します。その後にSETUPスイッチを押しますと波形が出力します。
TTL出力は最大109.99MHzまでしか出ません。必ずTTLを使用するときは設定周波数を再確認してください。

御使用上の注意

モジュールをBIN電源に挿入、取外すときには、必ずBIN電源のPOWERを切ってから作業を行なって下さい。

モジュールのサイドカバーは必要の時以外ははずさないで下さい。

このモジュールは ±6V系の電源を必要とします。
